

佐渡米通信

こめ〜る

2023年 3月号

発行日:2023年3月

編集人; 佐渡農業協同組合 営農振興部販売企画課 駒形(葵)
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

水稲生育情報をデジタル化

JA佐渡では定期的に生育段階に応じた指導会を実施し、ほ場に設置された看板で生育数値の周知を行ってきました。生育数値をより手軽に共有化したいとの要望を受け、水稲生育情報を共有化するWebアプリを作成しました。生産者はスマートフォンやパソコンからインターネットを介してWebアプリにアクセスし、生育段階毎に水管理や施肥が生育にどう反映しているかなどの判断の参考に出来ます。過去の生育実績や他ほ場との比較など情報を一覧出来るようになります。今春からの試験運用開始を目指しています。

Webアプリ「JA佐渡水稲生育検索」

マフィルタ	JA佐渡 水稲生育検索								
種別	品種名	播種日	田区名	田区面積	生育	生育数値	生育日数	生育時期	生育段階
種別	産地	2023/03/20	31	26	379	10.0	40	0.2	
種別	産地	2023/03/20	43	30	400	10.2	42	0.1	
種別	産地	2023/03/20	32	24	364	6.5	4	39	
種別	産地	2023/03/20	23	82	182	7	3.6	36	
種別	産地	2023/03/20	20	3	79	5.2			2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	102	284					2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	682	342					2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	233	6					2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	1188	33					2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	32.8	32.2					2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	33.8	62					2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	103.8	32					2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	16.8	31.6					2023/03/20
種別	産地	2023/03/20	28.8	83.8					2023/03/20



スマートフォンで検索している様子

酒米作柄検討会～ 肥料高騰下のお米づくり～

酒米作柄検討会は、酒米生産者と酒造関係者が一同に集い作柄を検討する会です。酒造関係者より酒米に求められる品質についての説明がありました。生産者側は品質の内訳を確認し、令和5年産米の栽培に向けた討議が行われました。

「生産現場では肥料などが値上がりして農業が続けられない。」、昨今の肥料農薬高騰に対して生産者から具体的な対策を求める切実な声がありました。JA佐渡では、生育状況を分析してコスト低減と高品質を維持するための土づくりの具体的な方法について提案する旨説明を行いました。酒米だけでなく、主食用米でも同様の課題を抱えており、生産規模に応じたコスト低減の提案を行っていきます。



検討会の様子(生産者、酒造メーカー、新潟県、醸造試験場、全農にいがた、肥料農薬メーカー、JA羽茂、JA佐渡)

JA佐渡 新規就農研修生にインタビュー

JA佐渡では2021年から農産物の安定供給を維持するために、新規就農制度を始めました。2022年4月から本制度の研修を受けながら2年後に独立を目指す北澤琉輝さん(19歳)をご紹介します。北澤さんは佐渡最北端の鷲崎集落出身です。同集落は漁業が盛んで佐渡島内で水揚げ量が最も多く、「寒ブリ」の主要な水揚げ港があります。北澤さんが農業をやりたいと思ったきっかけは、小中学校の給食の美味しさに感動したことが大きく影響しているそうです。給食の食材には地域の農産物が使われておりクラスの皆とこぞっておかわりをしたそうです。北澤さんは、農業従事者の高齢化が進んでいることを目の当たりにしており「そこを変えていきたい!」と次世代の担い手としての決意を語られていました。



研修を受けているJAファームでの北澤さん

北澤さんが子供の頃に地域の方たちから頂いた感動は、北澤さんの農産物を通して次の世代に必ず伝わっていくと思いました。

「農業機械ベストMCコンテスト」各部門入賞!

新潟県内各JAの農機担当者や機械センター(MC)を対象としたコンテストが開催され、JA佐渡では各部門で賞を頂きました。

「令和4年度農業機械ベストMCコンテスト」
 <整備部門>優秀賞 JA佐渡 新穂営農農機課
 <推進部門>奨励賞 JA佐渡 新穂営農農機課
 「令和4年度MC美化コンテスト」
 優良賞 JA佐渡中央農機センター

生産者の方々が安全で快適な農作業を行えるよう積み重ねてきた仕事がコンテストで優秀な成績を納めることに繋がりました。MC美化というのは、掃除や片付けが良く出来るという意味だけでなく、現場管理の原則である5S(整理・整頓・清潔・清掃・しつけ)がしっかり出来ていることを評価して頂いたことを示しています。整備の質の向上が農機を使う生産者さんの安全や農産物の品質の向上に繋がります。今後も生産者さんの万全な安全体制づくりに努めます。



受賞したJA佐渡新穂営農農機課のみなさん



《研修先》

株式会社JAファーム佐渡



地元の方たちが作った農作物の美味しさに感動した際の思い出を語る北澤さん

FacebookとInstagramで情報発信中 ▶



facebook

instagram

JASADOTANBO